

市民の声を**正しく美しく**伝え実行！！



# 池上まさみ 通信

## 新庁舎が開庁！！

2020年10月発行 発行者 池上まさみ後援会  
〒321-4323 真岡市東沼1564-2  
TEL・FAX 0285-82-6324  
E-mail: yume@ikegami-masami.com

去る9月23日に市の新たなシンボルとなる新庁舎が開庁しました。平成23年の新庁舎建設基本構想から9年の月日を経て、5階建て免震構造の災害にも強い庁舎が誕生しました。

新庁舎費は68億2千万円とのことですが、これについては、積み立て金や国の合併債を利用したの建設につながっております。また、新庁舎は防災拠点ともなる施設でもあり、市民にとって優しく、使いやすい庁舎になることを期待して今後の運営を注視していきたいと思っております。なお議場は最上階の5階に設置されております。今迄以上に多くの市民の皆様へ傍聴に来ていただけるよう期待しているところです。私も、新議場と同じく新たに、更なる市民の福祉をはじめとする生活の向上に努めてまいりたいと思っております。誰もが、安心して住みやすい街づくりの一助となるためにも、皆様のご意見・ご要望を今後ともよろしくお聞かせくださいようお願いいたします。



## 建議要望を会派「もおか新時代」として市長に



9月定例議会の最終日である9月17日（木）に私が所属する会派「もおか新時代」では、令和3年度の予算編成に向け、石坂市長に対して合計39件の建議要望を提出しました。今回の要望では少子高齢化時代において選ばれるまち、住みやすいまちのための施策として「生き甲斐づくりのための高齢者の積極的な労働力の活用」をはじめ「空き公共施設の土地・建物有効活用」「公共交通機関網の更なる強化」「新火葬場の早期建設」「避難所の増設とエアコンの導入」「電気自動車増車による環境対策」等を盛り込みました。

# 会派を代表して質問させて頂きました。8/31



9月定例会は、8月24日(月)から9月17日(木)に渡っておこなわれました。その中で執行部からの議案は、令和元年度の真岡市一般会計決算及び国民健康保険特別会計他6件の特別会計を含む議案と、監査委員及び教育委員会委員の同意及び、真岡市庁舎会議室の使用に関する条例、真岡市印鑑条例の一部改正、令和2年度真岡市一般会計、国民健康保険、水道事業会計の補正予算等、原案どおり18議案がすべて可決されました。

質疑・一般質問は、6月に続いてコロナ禍の影響を考慮して31日のみとして、計6名の議員が登壇しました。私は会派「もおか新時代」を代表して次の5件について質問をいたしました。なお、質問時間についても、短縮しての開催となりました。

## 1 件目 来年度の財政の見通しについて

【執行部答弁 石坂市長】

- ① コロナ禍の影響を受けて、来年度の税収の落ち込みをどの程度と予想しているのか。  
●平成20年のリーマンショックでは、市民税が前年比で約28%の減収となり、平成23年の東日本大震災では、固定資産税が前年比で7%の減収となった。今回の新型コロナウイルス感染症の減収の影響は、現時点では収束が見えず流動的であり予想が困難である。
- ② 税収の落ち込み等を補填する方策についてはどのような取り組みを考えているのかまた、新庁舎周辺整備事業などの実施時期を再検討する考えはないのか。  
●国の財源措置として市民税の補填のための減収補填債・徴収猶予特例債の借入れ、固定資産税・都市計画税の免除や減収に対して特別交付金を当てていく。更に、事業の選択と集中を徹底し精査していく。新庁舎周辺整備事業の実施時期については、今のところ変更は考えていない。(佐々木議員との重複)

## 2 件目 防災対応について

【執行部答弁 石坂市長・田上教育長】

- ① FM防災ラジオを普及させていくために、今後はPR活動を含めどのような取り組みをしていくのか。  
●防災ラジオを今年度から令和7年度までに6,200世帯への普及を目指して、75歳以上の世帯には1,000円、それ以外の世帯には3,000円で、10月中に販売すると共に、区長、町会長、民生委員・児童委員、市内保育園や医療施設及び避難行動要支援者などには、無償貸与していく。PR手段として市ホームページやウィークリーもおか、広報もおかへの掲載や各自治体への回覧板で周知する。

- ② 災害時のマイ・タイムライン(行動計画)を普及させるため小中学生向けツール「逃げキッド」を使って学校で防災教育をしてはどうか。
- 防災教育は各教科や学級活動そして、避難訓練を実施しているが、水害時の行動計画を分かりやすく簡単に作れる「逃げキッド」を各家庭で有効に活用できるよう各学校に助言していく。
- ③ 昨年の台風を踏まえて避難所を見直す予定はないのか。また、冷房装置の導入の考えはないのか。
- 昨年の台風 19 号や過去の災害時の対応等の課題を整理し、指定避難所のあり方や設置数なども地域防災計画の中で見直していく。冷房装置等の設置については設置費用が高額になることから今のところ考えていない。

## 3 件目 廃校利活用事業について

【執行部答弁 石坂市長・加藤総務長】

- ① 現時点の 3 校の進捗状況は、また、優先交渉権の変更や辞退時の市の対応は。
- 旧中村東小は来年 10 月の日本語学校開設のために建物賃貸借契約を締結予定  
旧山前南小は、デイサービス施設開設のための改修計画と資金計画を検討中。  
旧中村南小は、学童保育利用施設の計画だったが、優先交渉権を辞退して解約。  
優先交渉権の変更や辞退が発生した場合は、優先交渉権者と十分な協議後解約。
- ② 市の廃校利活用の支援制度はどのようになっており、活用されているのか。
- 建物の老朽化に伴う設備の更新や修繕費用、建築基準法や都市計画法の許可を得る為に必要な建物の改修や設備の更新費用の一部支援をおこなっている。  
(具体的には電気設備、水道設備、排水設備の更新や修繕。浄化槽設備更新等)
- ③ 旧東沼小を含めた利活用の見直しについて再募集時期を含めた計画は。
- 今迄の優先交渉権者との協議を踏まえ、新型コロナウイルス感染症状況も考慮し総合的に再募集時期を判断していく。

## 4 件目 ごみ処理について

【執行部答弁 野澤市民生活部長】

- ① リサイクルセンターの処理能力の現状と今後の対応はどのようにするのか。
- 年間計画処理量 1, 0 3 2 t に対して令和元年度は、約 1. 5 倍の 1, 5 0 4 t の搬入があったがすべてを受け入れて処理している。今後も搬入量の増加が見込まれるので、体制に整備を指定管理者と協議していく。
- ② 燃えるゴミが年々減少していると聞いているが処理経費は横ばいである。その理由と対応策等があるのか。また、ごみ袋の裏側に企業広告を入れる等の考えは。
- ごみ処理経費は、ごみ処理施設管理費と最終処分場管理費に分け積算されており、芳賀地区広域行政事務組合において 1 市 4 町で分担金を年間 5 億 5 千万円と設定でごみ処理基金を繰り入れることで、平準化しているため、ごみ量に比例しない。 また、ごみ袋の企業広告については、今のところ考えていない。

## 5 件目 働き方改革について

【執行部答弁 加藤総務部長・滝田産業部長】

- ① サテライトオフィスの支援の意味でも、空き家等の活用と情報通信環境等の整備が必要ではないか。

● 令和2年8月21日現在463件の空き家等があるが、空き家等の用途は、空き家は定住用で空き店舗は店舗用と要綱に定められており、現時点では難しい。今後先進事例やニーズを把握しながら、関係機関と協議・研究していく。尚、通信環境の整備については、貸主や利用者が行うべきと考える。

- ② 職員の在宅勤務の実施状況と課題はどのようなものがあったのか。

● 4月20日から5月6日までに190人の在宅勤務を行い、全職員の29.2%が実施した。セキュリティーの関係で在宅で行える業務が限定された。また、テレワークについても、人数の制限や決裁行為の事務が多く、職員間の打ち合わせが困難であることが課題である。

- ③ 今後の雇用情勢の悪化が懸念されるが、市としてどのような対策を考えているのか

● 雇用情勢の動向の状況は大変厳しく、悪化の傾向が見られる為、国・県の支援事業の活用をすると共に、市としては、合同就職面接会の充実を図って雇用対策に努めていく。

## 連合クリーンキャンペーンに参加して！



去る9月5日（土）に連合栃木芳賀地域協議会主催のクリーンキャンペーンが、真岡インター北、テクノ通りの側道のクリーン活動が行われました。今回は、新型コロナウイルスの影響を鑑み、役員のみでの参加となり、30名で午前9時から10時30分にかけて気温30度と暑い中、汗をかきながらの清掃活動を行いました。私も参加させていただき、とてもごみの量の多い事に驚きました。看板を含め、ポイ捨てをなくす為にも、良い知恵がないものか今後、研究してまいりたいと思います。

## ご存知ですか？シトラスリボンプロジェクト



Citrus  
Ribbon  
PROJECT

新型コロナウイルスによって感染されたとしても誹謗・中傷をなくして、誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会にしようとの願いから生まれたプロジェクトで「ただいま」「おかえり」と、そう心から言い合える気持ちを表す活動で、本市も市長以下全職員・議員間で応援中です。

